

長野市の取組

スポーツ課

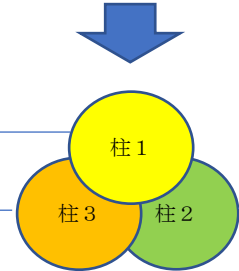
○長野市の取組と方向性

～長野市部活動改革の基本方針～

「部活動」と「社会体育・文化活動」とを明確に整理し、中学生期の文化・スポーツ活動の場を新たに構築する

生徒の主体性と多様性を尊重する新たな活動を取り入れる

部活動に代わる新たな活動の場を地域社会と協働してつくり始める



学校・家庭・地域との協働

県の指針に沿い、持続可能な部活動の運営体制を新たに整える

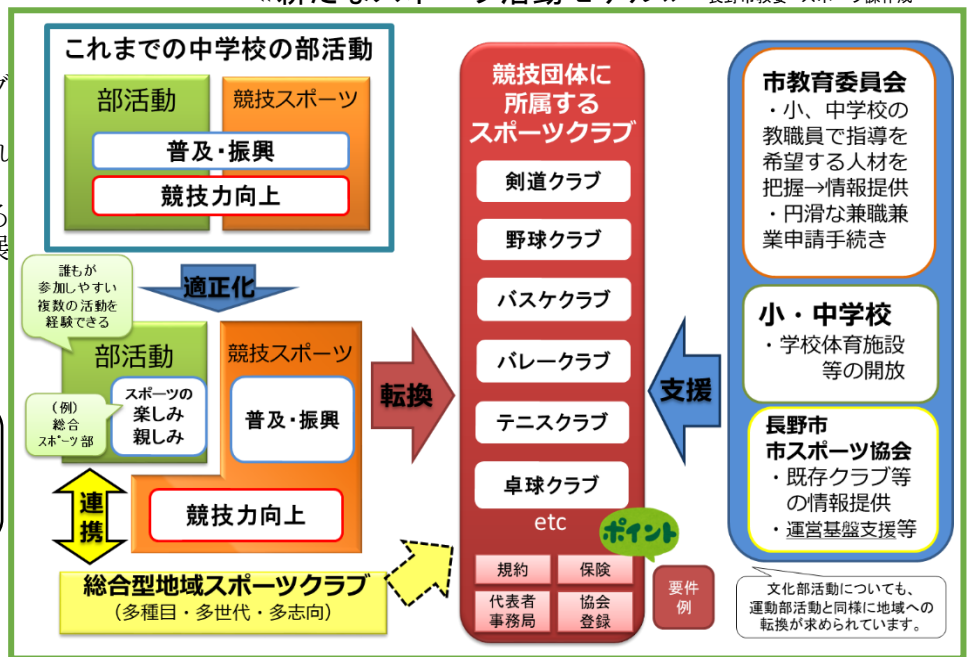
《新たなスポーツ活動モデル》 長野市教委・スポーツ課作成

〔今後の方向性〕

- ・個々の目的に応じた活動、クラブの選択
- ・部活動の有無や通学区で制限されない活動
- ・休日の部活動から移行を検討するが、平日も含めた「部活動の発展的転換」に向けた検討の推奨



Well-Being を感じられる
スポーツ・文化芸術活動への
挑戦



○長野市裾花中学校の取組

昨年度より、地域運動部活動推進事業の実践研究校である長野市立裾花中学校では、地域住民と連携し、地域における新たな体制づくりを目指している。

〔活動開始までの経過（令和3年度）〕

- ① 部活動運営委員会の開催
内容：○部活動の方向性○地域移行について市教委より説明 等
◇参加メンバー： 中学校長・教頭・部活動顧問、保護者代表者、部活動指導者、市教委
- ② 裾花スキルアップクラブ（SSUC）設立準備会の開催
内容：○名称○規約○運用方法 等の検討
◇参加メンバー： 中学校長・教頭、学校担当者、地域住民代表、市教委
- ③ 裾花スキルアップクラブ（SSUC）設立拡大準備会の開催
内容：○名称○規約○運用方法 等の検討
◇参加メンバー： 中学校長・教頭・学校担当者、地域住民代表、各部指導者、市教委
- ④ SSUC設立総会・発足会の開催
◇参加メンバー： 中学校長・教頭・学校担当者、地域住民代表、各部指導者、保護者、市教委
- ⑤ 活動開始（令和3年10月～）

〔SSUC活動の条件〕

- 地域指導者が確保できていること
- 長野県中学生期のスポーツ活動指針に沿って活動すること

〔現在の活動状況〕

剣道、サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子バレーの5競技で実施（教員が兼職兼業届を提出し、地域指導者と一緒に活動しているケースもある）

裾花中(裾花スキルアップクラブ)での令和3年度の取組

現状



校長

スポーツ庁「地域部活動推進事業」を活用して休日部活動を地域移行し、やりたい生徒の受け皿を作りたい。

住自協の主体的な協力は難しい



裾花中 部活動運営委員会

裾花スキルアップクラブ 設立準備会

裾花スキルアップクラブ 運営委員会
部会

中学校

保護者

地域住民

協議

市教委

県
スポーツ課

外部
指導者



今後

3年度の実践研究の課題を踏まえ、4年度以降は、「学校区を越えたクラブ員の募集」、「学校外の活動を見据え、スポーツ競技団体との連携」等を研究し、持続可能なクラブへの転換を目指していきます。

➤ 目的、ゴールイメージの共有

- ・休日部活動の学校以外の活動への転換
- ・理念、規約、運用方法等を関係者で検討
- ・クラブ役員、クラブ指導者の検討と委嘱
- ・運営規則に地域指導者(教員以外)の登録を義務化

ポイント

➤ 7月クラブ発足、クラブ員募集

➤ 9月裾花スキルアップクラブ設立総会の実施

➤ 教職員の「兼職兼業願い」の申請

➤ 10月より活動開始

- ・県中学生期のスポーツ活動指針を踏まえた活動

ポイント

学校や地域の実情に応じて、種目毎に、多様な方法での移行が考えられます

移行例①

(既存クラブへの統合)

A中学校



総合型地域スポーツクラブ

民間スポーツクラブ・フィットネスクラブ

地域のスポーツクラブ（競技団体加盟）
例) 剣友会、サッカーFC、シニアリーグ



顧問

希望者は職務ではなく
クラブに携わる
例) 競技団体に登録
例) クラブから委嘱

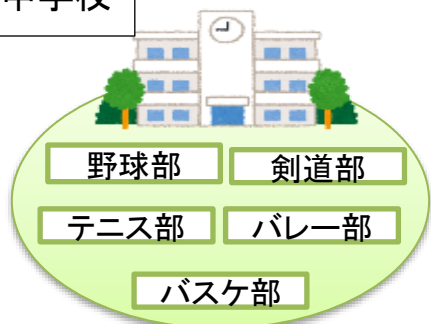


地域指導者

移行例②

(新規クラブ設立)
学校独自で/複数校で

B中学校



学校教育活動ではないこと、種目毎に実情が異なることから、競技団体等がエリアを決めることが望ましいと考えております。

競技団体等を母体とした
スポーツクラブ

剣道クラブ

野球クラブ

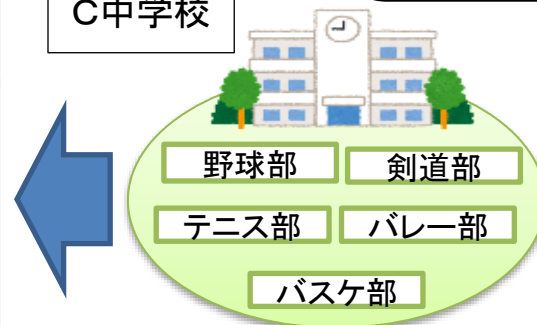
バスケクラブ

バレークラブ

テニスクラブ

etc

C中学校



- ・個々の目的に応じた活動、クラブを**選択できる**ようにします。
- ・部活動の有無や通学区で制限されない活動にします。
- ・国は、休日の部活動から移行を検討するとしているものの、大会参加や指導者等の様々な課題があることから、平日も含めた「部活動の発展的転換」に向けた検討を推奨します。

